

## ◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 大宮支部

24A-32

代表者：支部長 原田 剛

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

さいたま市西部に位置する〈秋葉の森総合公園自然保護ゾーン〉は、希少種を含む多くの野生生物の生息・繁殖地です。当支部は、こうした貴重な自然環境を都市化著しいさいたま市民の大切な財産と位置づけ、公園緑地協会と締結した協働事業の一環としてこのゾーンを適切に維持・管理する作業を続けてまいりました。また、さいたま市では、既存敷地の南側に広がる広大な湿地を含む公園拡張計画が実行段階に入り、当支部の活動をさらに大きく展開する必要を感じています。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

4月～6月	秋葉の森総合公園自然観察ゾーン	竹林整備、ヨシ刈り	延べ 17名
7月～9月	秋葉の森総合公園自然観察ゾーン	ザリガニイベント、外来種駆除	
	秋葉の森総合公園南工区エリア	現地調査	延べ 27名
10月～12月	秋葉の森総合公園自然観察ゾーン	自然観察会、支部会	延べ 8名
1月～2月	秋葉の森総合公園自然観察ゾーン	自然観察会、ニホンアカガエル産卵場所整備 産卵の確認	延べ 14名

### 3. 活動の成果

- ◆ 秋葉の森総合公園自然観察ゾーン外来種駆除・ヨシ刈り  
ザリガニ釣りイベントで外来種の功罪を説明して、親子ともに共感していただきました。また、その後に実施した外来種駆除にも参加してもらえました。  
自然観察会を企画し、隔月で実施しています。秋葉の森総合公園の豊かな自然と魅力を幅広く認識してもらう活動として今後も注力していきます。



### 4. 今後に残された課題

長引くコロナ禍で、活動予定の中止・変更を余儀なくされましたが、今後とも自然観察ゾーン維持・管理作業を粘り強く続けていきたいと思えます。

また、志を同じくするたくさんの方々に参加を呼びかけ、メンバーの増強を図ることも大きな課題です。

